

NITEP 研究会

「微視的理論でつなぐ散乱観測量と核構造」

大阪市立大学 梅田サテライト 104 講義室

2019 年 3 月 28 日

世話人：佐藤弘一 千葉陽平 緒方一介 櫻木弘之

- 9:30 – 10:00 千葉陽平 (大阪市大) 「 α 非弾性散乱とクラスター励起モード」
- 10:00 – 10:30 谷口億宇 (香川高専) 「 ^{28}Si の $^{12}\text{C} + ^{16}\text{O}$ 分子共鳴状態」
- 10:30 – 11:00 吉田数貴 (JAEA) 「アルファノックアウト断面積の定量的理解および
クラスター状態との対応関係」
- 11:00 – 11:30 休憩
- 11:30 – 12:00 菊地右馬(徳山高専) 「高運動量移行ノックアウト反応からみる核子相関」
- 12:00 – 12:30 四方悠貴(京大) 「クラスター構造による低エネルギー双極子励起モードの
理解」
- 12:30 – 14:00 昼食
- 14:00 – 14:30 日野原伸生(筑波大) 「原子核対相関と観測量」
- 14:30 – 15:00 鷲山広平(九大) 「原子核の大振幅集団運動と核分裂ダイナミクス」
- 15:00 – 15:30 休憩
- 15:30 – 16:00 佐藤弘一(大阪市大) 「集団模型に基づく遷移密度の記述」
- 16:00 – 16:30 古本猛憲(横浜国大) 「非弾性散乱断面積から見る励起状態の大きさについての
再考」
- 16:30 – 17:30 議論